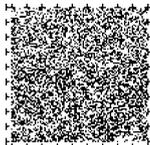


リハビリテーション医療の提供



病院



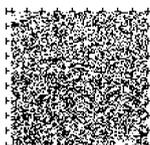
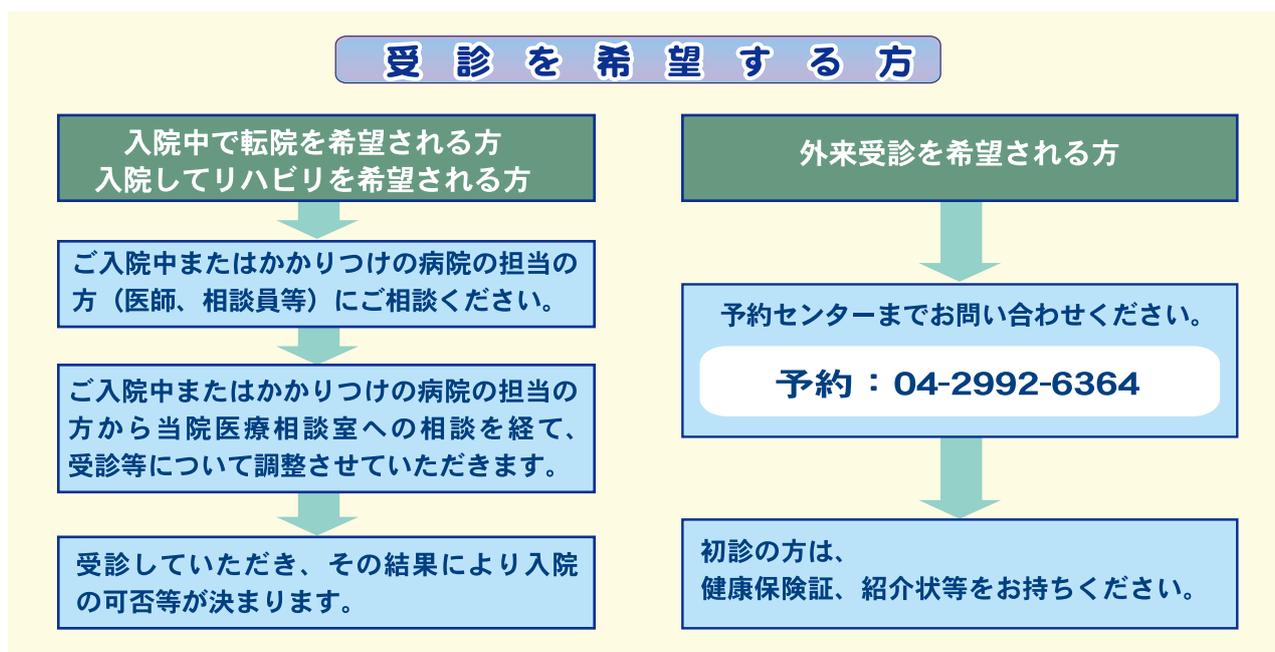
■理念

個々の患者様に最適な安全で質の高い医療を提供し、リハビリテーション医学および障害者医療の発展とリハビリテーション専門医療職の育成に努めます。

■対象となる方々

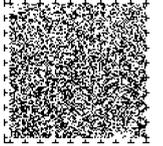
- ◆身体の機能低下によって歩行や身の回りのことなど日常生活にお困りの方やその可能性のある方
 - ◆眼に関することでお困りの方やその可能性のある方
 - ◆耳の聞こえや、言葉についてお困りの方やその可能性のある方
 - ◆食べ物の飲み込みなど、口や喉の動きについてお困りの方やその可能性のある方
 - ◆病気やけがによって判断や記憶などの問題で日常生活にお困りの方やその可能性のある方
 - ◆病気やけがの後遺症により、生活に復帰するためのリハビリテーションが必要な方
 - ◆発達の問題を有する方（疑いを含む）で、身体の機能や目の機能、聞こえに関する困りごとを併せ有する方
- ★障害者認定（障害者手帳等）を受けている必要はありません ★子供から大人まで受け付けます

■受診までの手続（フロー図）



お問い合わせ先

●病院受診に関するお問い合わせは医事管理課までお問い合わせください。
TEL 04-2995-3100（内線3151・3152）
FAX 04-2996-3074（医事管理課直通）



■診療科

内科、神経内科、精神科、眼科（ロービジョンクリニック）、耳鼻咽喉科、整形外科、リハビリテーション科、泌尿器科、歯科、児童精神科、小児科、婦人科

■専門外来

ご利用の対象は次のような方々です

◆人間ドック

車いす使用の方など障害のある方

◆高次脳機能障害専門外来

けがや病気で記憶や判断など高次脳機能障害にお悩みの方

◆言語発達・構音障害外来

18歳以下の方で、「言葉の遅れ」や「発音がはっきりしない」、「発音がうまくできない」などお悩みの方

◆耳鳴外来

耳鳴りでお悩みの方

◆成人吃音相談外来

吃音でお悩みの方

◆小児吃音外来

18歳以下の方で、吃音でお悩みの方

◆補聴外来

成人で補聴器を考えている方

◆小児難聴外来

小児の難聴でお悩みの方

◆ロービジョンクリニック

見えにくさを感じている方

◆シーティング・クリニック

座位保持にお悩みの方

◆補装具診・装具外来

義肢や装具の必要な方

◆健康増進・スポーツ外来

生活習慣病を予防したい方やスポーツに取り組みたい障害のある方



小児難聴外来



人間ドック



シーティング・クリニック



拡大読書器選定風景ロービジョンクリニック



脊髄再生医療リハビリ相談外来



補装具診・装具外来

◆児童精神科ショートケア

学校生活や就労を目指している思春期および青年期の発達障害のある方

◆障害者検診

身体障害者手帳をお持ちの18歳以上65歳未満で、活動機能低下予防を考えている方

◆脊髄再生医療リハビリ相談外来

脊髄損傷など外傷や疾患による脊髄の障害のため手足に麻痺があり、再生医療をはじめ先端的な治療に積極的に取り組みたいと考えている方

※受診予約専用電話 電話 04 - 2992 - 6364 FAX 番号 04 - 2996 - 3074

受付時間 平日 9:30 ~ 11:30 / 12:30 ~ 15:30

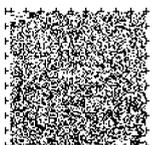
※児童精神科では医療機関等からのご紹介のみお受けしております。

※精神科については、再診のみの受付となっております。

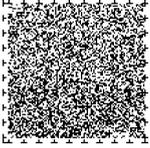
※歯科受診は、センター代表電話 04 - 2995 - 3100 にお問い合わせください。

※各診療科の紹介や詳しい受診方法等については当院ホームページ

<http://www.rehab.go.jp/hospital/japanese/index.htm> もご参照ください。



リハビリテーション医療の提供



■リハビリテーション

入院・外来の患者の方、自立支援局を利用している方に対して、診断と治療・看護を行うとともに、専門職のチームアプローチにより必要な機能回復訓練を実施しています。また、リハビリテーション技術の臨床的研究・開発にも取り組んでいます。



理学療法



さまざまな障害のある方に対して、身体的な機能障害の改善や運動能力の向上をはかるとともに、日常生活上の基礎的な動作の獲得を目指した練習を行います。また、福祉機器の相談や自己管理方法の指導など、退院後の生活に関する支援を行います。

言語聴覚療法



豊かなコミュニケーションを目指して小児から成人・高齢の方まですべての年代において、きこえやことばの障害のある方に対してことばの機能の改善やきこえの補償・訓練などを行っています。また摂食・嚥下障害のある方に対して「たべること・飲み込むこと」などの評価・訓練を行っています。

作業療法



身体障害や高次脳機能障害のある方に対して、日常生活や社会生活にどのような障害が生じているかという視点から、目的活動の充実を図るように働きかけます。具体的には、作業活動を用いて身体機能や認知機能の向上を促す機能回復訓練、日常生活や社会生活に必要な動作や道具の工夫、住宅改造等のアドバイス、健康的な生活を促進するための支援を行います。

ロービジョンクリニック



視覚に障害のある方に対して、適切な補助具の選定、歩行訓練や日常生活動作へのアドバイスなどにより、生活の質（QOL）の向上と自立した生活の継続のための支援を行っています。

臨床心理



主に高次脳機能障害のある方に対して、各種心理検査の実施、心理検査等の結果に基づいた助言、個別訓練、グループ訓練、家族支援等の心理支援を行っています。その他、各診療科担当医の指示に応じて、心理相談等を行っています。

リハビリテーション体育



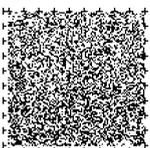
病気やけがなどにより心身に障害のある方や機能が低下した方を対象に、スポーツやレクリエーション、体操などの運動特性を

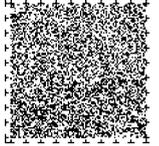
手段として、基礎的な体力の維持・向上や生活活動の改善・拡大、心身の活動性の向上など、社会生活を営む上で必要な日常生活での活動能力の向上を図る支援を行います。

義肢装具療法



四肢の変形や欠損、麻痺がある方に義手・義足・装具を製作し、身体的機能の回復や日常生活の向上の為に必要な義肢装具の使い方の指導を行っています。





看護・病棟

入院治療やリハビリテーションの必要な方へ、入院中の日常生活に寄り添いながら、訓練をいかしその人にとってより良い生活に向けて支援をします。看護ケアを開発し、地域の看護力の向上に貢献します。



医療相談

療養生活中に起こる様々な問題を中心として、患者様やご家族、関係機関等からのご相談を看護師と医療ソーシャルワーカーがお受けしています。また、在宅復帰、復職、復学等社会復帰に向けて、介護保険や障害福祉サービスをはじめとする様々な制度の活用等、社会資源を有効に利用するための助言及び支援を行っています。



薬剤科

障害のある方が安心して薬を服用できるように様々な工夫をして調剤を行っています。視覚障害の方には、拡大文字・音声による薬剤情報の作成や複数の薬をまとめて包装し、かつ、朝、昼、夕と服用ごとに包装に切り込みを付け、触って判別できるようにしています（右写真）。点眼薬に識別シール（凸凹シール）を貼って区別できるようにしています。肢体障害の方には、簡単に薬が取り出せるように1回分ごとの分包、固くてむきにくい坐薬をシートから取り出してビニール袋に入れるなど支援を行っています。



■障害者健康増進・運動医科学支援センター

太り過ぎ、痩せ過ぎ、体力低下に注意しようと思っても、病気や障害によって難しい場合があります。また、生活の中にスポーツを取り入れたくても方法が分からない場合もあります。医療・スポーツ・栄養・生活指導の面からこうした相談に取り組むサービスと研究を行っています。

健康増進外来

整形外科・リハビリテーション科・内科にて専門外来を行っています。医師の診察後、その人にあった運動療法や栄養指導を行い、体調管理のお手伝いをします。ご希望の方は各科の担当医に受診を相談してください。初診での受け付けも行っていきます。

障害者スポーツ支援

競技レベルで障害者スポーツに取り組む選手の医科学支援と練習環境支援を実施しています。詳しくは病院ホームページをご覧ください。

障害者人間ドック

障害のある方が安心して受診できる日帰り人間ドックを開設しています。完全予約制となっており、ご希望の方は予約センターにご連絡ください。

障害者スポーツ外来

車いす競技など、障害者スポーツの競技中に生じたけがや痛みに対する治療を行います。整形外科・リハビリテーション科にてご相談ください。

